

事務事業マネージメントシート

作成日 年 月 日

事務事業名	とちぎ環境・みどり推進機構参画事業				担当	産業環境部 農政課 農村整備係				
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり				電話番号	0285-83-8137			
施策名	01	農業の振興				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業				
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和22 年度～）				
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	2林業費	2林業費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）				

平成24年度から、「県治山林道協会参画事業」の事業名を変更。とちぎ環境立県戦略のリーディングプロジェクト等の実現及び自然環境活動などの人材育成や活用等の新たな取組を、県民や企業等と協働し、効率的、効果的に推進するため、平成23年12月1日に緑化推進委員会と治山林道協会()が合併して当機構が発足した。また、平成24年4月1日に公益社団法人に移行した。

目的 快適で住みよい、緑豊かな郷土づくり
 主な取組・緑化事業の推進（緑の募金、とちぎ緑の基金）・県民協働による森づくりの推進（森林土木事業、林業労働力確保支援）・環境学習など環境への取組の推進（緑のカーテン、緑の少年団育成）
 安全で緑豊かな県土づくり、水土保全機能の強化、森林と人の共生、森林資源の循環利用の促進等を図るため、関係機関と協力して治山、林道、林野観光事業などの林野公共事業を推進。27市町と19林業団体からなる正会員、事業施工関係協賛者等からなる賛助会員で組織。

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 25年度実績 ・社団法人 とちぎ環境・みどり推進機構の運営を支援するため、会費を支出（人口割、事業割）	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)		
26年度計画 24年度と同様	ア：負担金の額		35	43	43				
	イ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 社団法人 とちぎ環境・みどり推進機構	ウ								
	エ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 社団法人 とちぎ環境・みどり推進機構の適切な運営を図る。	オ								
	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 森林の適正な維持管理を図る。	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)		
	ア：とちぎ環境・みどり推進機構会員数		307	305	95				
⑤総事業費の推移	イ								
	ウ								
⑥上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移	エ								
	オ								
(2) 総事業費の推移	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)		
投 入 量	ア：適正な管理を啓発されている山林面積		1,501	1,500	1,500				
	イ								
事業費	ウ								
	エ								
人件費	オ								
	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)		
	ア：適正な管理を啓発されている山林面積		1,501	1,500	1,500				
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	イ								
	ウ								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	エ								
	オ								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	⑨トータルコスト(A)+(B)	千円	69	77	77				

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 豊かな水や空気を育み、安全で安心できる環境づくりとなり、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 県内の市町村が正会員になっているとともに、多面的、公益的機能を持つ森林の保護は重要であり、公共関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象としている当機構は、森づくりによる生活環境の保全を図っており適切といえる。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 森づくりの推進について、適切な運営がなされているので成果向上の余地がない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 当機構の運営が停滞し、森林の適切な管理の啓発活動ができなくなるので廃止休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 他に類似事業がない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 負担金は、人口割・事業割で必要最小限であり削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費であり削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担を求める事業ではなく、各市町や林業団体等が応分の負担をしているので公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 繼続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								